

単元名 7 価値を生み出す 一文法への扉2 「ない」の違いがわからない? 配当時間 1時間

単元の目標 (1) 「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解することができる。  
(3) 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとする。

### 標準的な展開例

12210219\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 「ない」の違いについて考え、文法の総復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ これまでの文法学習の総まとめをしよう。</li> <li>○ 教科書 (p. 177) を読み、「ない」の違いについて考える。</li> </ul> <p>○ 「文法のまとめ」 (p. 215～p. 218) にある文法の問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ない」という語が意味や用法によって、形容詞、形容詞の一部、助動詞に分類されることを整理する。</li> <li>・ 「ない」を使う表現を生徒に挙げさせ、それらについて教科書の①～③のどの「ない」と同じなのかを考えさせるなど、楽しませながら進め、それぞれの見分け方を理解させる。</li> <li>【評】 「ない」の違いを考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 3年間の文法の学習を思い出し、文の組み立てや単語の種類と働きなどについて復習させる。</li> <li>・ 「一、二年生の復習」 (p. 210～p. 211) を参考にしてもよい。</li> <li>・ 理解の不十分な項目については、どの時点から理解が進んでいないのかをチェックし、アドバイスをしていけるとよい。</li> <li>【評】 文法の問題に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

### 【 備 考 】

中学校3年生の時期には、社会に目が向く一方で、自分という存在について深く考え、苦しむことも多い。そこで、自分の中にだけ目を向けるのではなく、他の人たちとの関わりの中で自分という存在について考えることの大切さを説く論説文を通じて、社会的な関わりが希薄だといわれる中学生に、人との関わりの中で、新しい価値を創造することの重要性などに気付かせたい。

また、課題に沿ってグラフを分析し、論理の展開に注意して小論文を書くことで、情報を客観的に読み取り、論理的に考えて表現する力を伸ばしたい。

「文法のまとめ」 (p. 215～218) を利用する。